

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ままはぐ小牧外堀事業所（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日 ～ 2026年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7家庭	(回答者数)	5家庭
○従業者評価実施期間	2026年2月1日 ～ 2026年2月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性や発達段階に応じた個別支援を行い、安心して過ごせる環境づくりができています。	子どもの特性や発達段階に応じた個別支援を行い、安心して過ごせる環境づくりができています。	個々の支援内容について定期的な振り返りを行い、より一人ひとりに応じた支援の質の向上を図る。
2	保護者との連携が図られており、日々の様子や成長について共有できている。	連絡帳や面談を通して情報共有を行い、保護者の意向を支援に反映できるよう努めている。	保護者支援の機会を増やし、相談しやすい環境づくりや交流機会の充実を図る。
3	安全面に配慮した環境整備が行われており、子どもが安心して過ごせる体制が整っている。	活動内容や子どもの特性に応じて環境調整を行い、事故やトラブルの予防に努めている。	日々の支援の振り返りを通して安全面の見直しを行い、より安心して過ごせる環境づくりを強化する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容や対応について、職員間での共有にばらつきが見られることがある。	日々の業務の中で情報共有の時間が十分に確保できていないことが要因と考えられる。	定期的な打ち合わせや記録の活用を通して、情報共有の徹底と支援の統一を図る。
2	保護者支援や交流の機会が十分とは言えない部分がある。	業務時間や保護者の状況により、機会の設定が難しいことが要因と考えられる。	無理のない範囲で面談や情報発信の機会を増やし、保護者との関係強化を図る。
3	研修や訓練の内容について、職員ごとの理解度に差が生じることがある。	経験年数や知識の差により、理解の深さに違いが出ていることが考えられる。	継続的な研修の実施や振り返りの機会を設け、全体のスキル向上を図る。

公表日 2026年3月17日

5人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5					活動内容やお子さまの状態に応じて、安全に過ごせる空間の確保に努めております。今後も、児童が安心して過ごせる環境整備を継続してまいります。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4			1		基準に沿った人員配置に加え、看護職員等を含め、お子さまの状態に応じた支援体制を整えております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	5						
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4			1			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4			1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					お子さま一人ひとりの状態やご家庭のご意向を踏まえ、ニーズや課題を整理した上で個別支援計画を作成しております。今後も丁寧な聞き取りと評価を行い、より適切な計画作成に努めてまいります。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	1		1			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	1			具体的に1日どのように生活しているのか見学ができる日があると思う。	個別支援計画に基づき日々の支援を行っております。今後は支援の様子や具体的な関わりについても、より分かりやすくお伝えできるよう工夫してまいります。また、ご希望に応じて支援の様子をご覧いただける機会についても検討してまいります。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4			1		お子さまの体調や発達段階、興味関心に合わせて、無理のない範囲で活動内容を工夫しております。今後も経験を広げられるよう努めてまいります。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2			1	2	健常児の子どもたちとも関わりが持てるよう学べると思った。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4				1	対応の仕方や困っていることなど聞くことと教えてくれるのでとても参考になっている。送ってくる動画で保育士さんの関わり方がわかるの助かっている。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5					連絡帳やあった時に様子を共有できている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					日頃より、子育てや関わり方についての助言・相談対応を行っております。今後も継続し、安心してご相談いただける環境づくりに努めてまいります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4				1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者同士の関係等により、保護者同士の交流の機会が創られるなど、事業への支援がされているか。また、まよっぴい向けのイベントの開催等により、まよっぴい同士の交流の機会が創られるなど、まよっぴいへの支援がされているか。	1	1	1	2			
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて関わり、説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	5					レスポンスが速く、いつも丁寧に 対応してくださっている。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3	1	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				1		個人情報の取扱いについては十分配慮し、適切な管理を行っております。今後も安心してご利用いただけるよう、引き続き徹底してまいります。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			3		各種マニュアルの整備や訓練は実施しておりますが、その内容の周知が十分でなかった可能性があるため、今後はより分かりやすくお伝えしてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			3		避難訓練等は実施しておりますが、保護者の皆さまへの周知が十分でなかった可能性があるため、今後は実施状況や内容について分かりやすくお伝えしてまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			2		事故やヒヤリハット発生時には速やかな対応と報告を行っておりますが、より安心していただけるよう、対応内容や再発防止策についても分かりやすくお伝えしてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	3	2				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4	1				お子さまが楽しみに通所しているとの評価をいただき、職員一同励みになります。今後も安心と楽しさを大切にした支援を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				通所するようになってからできることが増えており満足している。	「できることが増えて満足している」とのご意見をいただき、ありがとうございます。お子さまの成長を感じていただけていることを大変嬉しく思います。今後も一人ひとりの可能性を大切にしながら、支援の質の向上に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ままはぐ小牧外堀事業所（児童発達支援）
------	---------------------

公表日 2026年3月17日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		子どもの発達段階や活動内容に応じてスペースを使い分け、落ち着いて過ごせる環境づくりを行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		子どもの特性や人数に応じて職員配置を調整し、安全に配慮した支援を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		視覚的な提示や環境の構造化を行い、子どもが見通しを持って安心して活動できるよう配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		清潔で安全な環境を維持し、子どもが安心して過ごせるよう日々の環境整備を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		日々の振り返りやケース検討を通して、職員全体で支援の見直しや改善に取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	連絡帳や面談を通して保護者の意向を把握し、支援内容に反映できるよう努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		子どもの発達段階や特性に応じた支援プログラムを作成し、わかりやすく提供している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		アセスメントを基に、子どもや保護者のニーズに応じた個別支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		関係職員で共有しながら、子どもの最善の利益を考慮した計画作成を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画を職員間で共有し、一貫した支援が行えるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインを踏まえ、発達や生活に必要な支援内容をバランスよく設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員間で相談しながら、子どもの発達に応じた活動を立案している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		子どもの興味や発達段階に応じて、活動内容に変化を持たせている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援前に職員間で打ち合わせを行い、役割分担や支援内容を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援後に振り返りを行い、気づきや課題を職員間で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の支援内容を記録し、支援の検証や改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングを行い、子どもの状況に応じた支援の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	6			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		交流の機会が限られているため、無理のない範囲で地域との関わり方を検討する必要がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳や面談を通して、子どもの状況や発達について保護者と共有し、共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		支援機会や内容にばらつきがあるため、家族支援の充実に向けた取組が必要である。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		利用開始時に運営規程や支援内容について丁寧に説明し、理解を得られるよう努めている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		子どもや保護者の意向を確認しながら、最善の利益を考慮した支援計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		児童発達支援計画をもとに支援内容を丁寧に説明し、保護者の理解と同意を得ている。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		交流の機会が十分でないため、無理のない範囲で実施方法の検討が必要である。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取扱いに配慮し、適切な管理を行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		子どもの特性や発達段階に応じて、視覚支援やわかりやすい言葉を用いる等の配慮を行い、保護者とも情報共有を図っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		地域との交流機会が十分とは言えないため、無理のない範囲で機会の創出が必要である。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを整備し、職員間で周知するとともに、定期的に訓練を実施している。	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		非常時に備えた対応体制を整備し、必要な訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		事前に健康状態や服薬状況等を確認し、安全に配慮した支援を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画に基づき、研修や訓練を実施し、安全管理を意識した支援を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画に基づき、子どもの安全確保に努めるとともに、保護者へも取組内容の周知を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止に関する研修を実施し、職員の意識向上と適切な対応に努めている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		身体拘束について組織として方針を定め、保護者への説明と理解を得た上で適切に対応している。	